



働き方改革 中小が先行

事業所内に認可保育園

群馬県安中市にある物流センターの敷地の一角に「うずまき保育園」の看板が掲げられている。総合物流業のボルテックセイグン(群馬県安中市)が、4月本格施行の「子ども・子育て支援新制度」を活用し、開設した認可保育園だ。育児しながら仕事を続けられる環境を提供している。

武井宏社長は「会社の財産は社員。社員一人ひとりが活躍するための環境整備の一環」と話す。従業員約450人の同社は、社内のバリアフリー化など職場環境の整備に力を入れてきた。多様な人材が活躍できる環境づくりは、企業文化として根付いている。育児支援もテーマになり、13年に社員を対象にしたニーズ調査を実施。施設を構えることを決め、15年1月に開業。4月に特定地



域型保育事業の認可を安中市から受け、認可保育園となった。

武井社長は「将来に向けて女性を雇用できる環境を広げる。将来、女性を採用する上での条件整備」と位置づける。人材不足は県内企業の悩みになっているが、同社には当てはまっていない。それでも時代を見据えて、対策を講じている。

(群馬支局長・大友裕登)

▲ボルテックセイグンの認可保育園